現代日本の政治と行政　予習プリント

第６講：保守勢力の再編と５５年体制の形成

はじめに：独立＝占領軍という権威抜きでの日本政治の安定化へ

→安定的保守政治の構築へ向けた、「逆コース」から保守政界の再編へ

１，吉田政権の崩壊と鳩山政権の成立（５４年１２月）

１）保守勢力の「＿＿＿＿＿＿＿＿」への動きの中で、鳩山が自由党に復帰(51/8)

→吉田「禅譲拒否」から「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」へ（５２年８月）

＝鳩山派が選挙準備を整える前の解散、自由党は分裂選挙へ

その結果は、自由党が若干議席を減らし、左右社会党は議席を伸ばす

＋共産党の議席ゼロへ

２）「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」の実施（５３年３月）

＝衆議院予算委員会での質疑中に吉田首相の「バカヤロー」発言

→吉田首相懲罰動議の可決から「内閣不信任案」の可決：鳩山派「分党派自由党」

５３年４月総選挙で、自由党の過半数割れ、左右社会党のさらなる伸長

３）＿＿＿＿＿＿と吉田内閣の崩壊（５４年１２月）

「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」により、５４年初頭には自由党中枢に捜査の手が

→佐藤栄作自由党幹事長の「逮捕許諾請求」提出へ←犬養法相の指揮権発動

→反吉田保守勢力の総結集による「日本民主党」の結成：初代総裁は鳩山に

５４年１１月招集の臨時国会冒頭に「内閣不信任案」が上程され、吉田内閣総辞職

２，鳩山内閣下での「＿＿＿＿＿＿＿＿」（５５年１１月）

まず、解散・総選挙の実施

＝鳩山は　i)憲法改正　ii)自衛軍の創設　をスローガンに選挙戦を戦う

→民主党は第１党に＋左右社会党の伸長＝保守で３分の２の議席確保できず

５５年１０月の「＿＿＿＿＿＿」に引き続き、保守合同＝「自由民主党」の結成

３，「５５年体制」の構造

１)「２大政党制」というよりも「１ヵ２分の１政党制」

２) 政策形成過程は、＿＿＿＿・＿＿＿＿・＿＿＿＿＿＿の三者によって掌握されていく

３）野党勢力は、政策形成の中枢から排除されていく

４，「＿＿＿＿＿＿＿＿」（５６年１０月）と鳩山政権の終焉

５６年７月の参院選でも保守で３分の２の議席確保できず＝鳩山、憲法改正断念

→日ソ国交回復による、日本の国際舞台への復帰＝国連加盟の実現（５６年１２月）

→これを達成した後に鳩山内閣は総辞職し、鳩山は政界から引退